

会 議 録

会議名		平成29年度第3回相模原市障害者自立支援協議会				
事務局 (担当課)		相模原市社会福祉事業団 障害者支援センター松が丘園 電話 042-758-2121				
開催日時		平成30年2月20日(火)午後3時~午後5時				
開催場所		障害者支援センター松が丘園3階・研修室				
出席者	委員	出席 18人 欠席 4人				
	その他					
	事務局	5人 市：障害政策課 2人 社会福祉事業団：地域支援課長 他2人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 会長挨拶 3 議 題 (1) 研修報告(資料1~3)...p1~8 (2) 部会報告 ア 権利擁護・虐待防止検討部会(資料4~6)...p9~15 イ 相談支援事業所等連絡・調整部会(資料7~10)...p16~26 ウ 相談支援技術向上部会(資料11~13)...p27~34 (3) その他 4 副会長挨拶 5 事務連絡 6 閉 会				

平成29年度第3回相模原市障害者自立支援協会委員名簿及び出欠状況

No	区 分	所属・職	氏 名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長 (やまびこ工房 施設長)	なかじま ひろゆき 中島 博幸	出
2		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (福)らっく 理事長)	すずき すみえ 鈴木 純恵	出
3		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (くりのみ学園 施設長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
4		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長	おの あきこ 小野 明子	出
5		(福)相模原市社会福祉協議会 福祉推進課長	たどころ まさし 田所 雅	出
6		相模原福祉オンブズマンネットワーク スーパーバイズオンブズマン	わたなべ ゆきお 渡辺 幸雄	欠
7		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	さが じゅんじ 佐賀 淳司	出
8	指定相談支援事業者	橋本障害者地域活動支援センター ぷらすかわせみ 施設長	なかたに まさよ 中谷 正代	出
9		子ども相談支援リボン (NPO法人ワンダートンネル理事長)	ちや ふみこ 千谷 史子	出
10	障害者等及び その家族	(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 副会長	はねだ ひさし 羽田 彌	出
11		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	しまもり まさこ 島森 政子	欠
12		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	かたおか かよこ 片岡 加代子	出
13	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学東病院医療ソーシャルワーカー)	だいなか たく 提中 拓	出
14	教育関係機関の職員	神奈川県立相模原中央支援学校 総括教諭	はしづめ みつこ 橋爪 美津子	出
15		教育局学校教育部学校教育課担当課長	みずの まさと 水野 正人	欠
16	関係行政機関の職員	健康福祉局福祉部障害政策課長	ありもと ひでみ 有本 秀美	欠
17		健康福祉局福祉部精神保健福祉センター 所長	ししくら くりえ 宍倉 久里江	出
18		健康福祉局福祉部南障害福祉相談課長	いしづか きちこ 石塚 祥子	出
19		こども・若者未来局陽光園主幹(兼)療育 相談室長(兼)発達障害支援センター所長	なかじま しげゆき 中嶋 成享	出
20		こども・若者未来局南子育て支援センタ ー所長	さくま たかこ 佐久間 貴子	出
21	こども・若者未来局児童相談所 総括副主幹	あきま ゆたか 秋間 裕	出	
22	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出

審 議 経 過

主な内容は次の通り。

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題 (は会長、 は委員、 は部会長、 は事務局の発言)

(1) 研修報告

平成29年度相模原市障害者自立支援協議会研修報告を別紙のとおり報告した。

(意見)

「共生社会」をテーマに研修を実施した。大変意義深い内容の研修であった。共生社会の実現に向けて、地域生活をどのように充実するかが課題である。今後、現実として実現できる仕組みを考えていく。自立支援協議会研修では、様々な立場の方が語り合える場を設けることが必要だと思う。これからも様々な声を反映しながら、共に取り組んでいく。資料のとおり、まとめでは障害のある方の困り感だけではなく、「わくわく元気」であることを発信することが大切であることが共通の認識となった。人はそれぞれの状況で関わりを持つことができる。自身の自立、相手の自立を尊重しながら、共生社会が実現されることを期待する。

登壇者の話にエネルギーを感じた研修であった。

(2) 部会報告

ア 権利擁護・虐待防止検討部会

部会長より別紙のとおり報告をした。

(質疑応答)

なし

イ 相談支援事業所等連絡・調整部会

部会長より別紙のとおり報告をした。

(質疑応答)

学校教育支援ネットワークで児童の困難事例が検討されている。協議会にはそのような活動が知られていないように感じる。放課後等デイサービス事業所は送迎の際に支援級教諭と情報共有できている。具体的な内容が検討されることを期待したい。

個別支援検討連絡会にて、サービス担当者会議に教育機関が参加し、風通しのよい関係性を構築しなければならない。学校教育支援ネットワークおよび障害

福祉の相談体制の情報共有をし、福祉と教育が連携できた好事例を基に、支援体制を検討している。

好事例はどこからの事例か。

市内の事例である。

福祉と教育の連携については、れんきょうと市との懇談会において、これまでも課題に挙がっており、以前より改善しているのではないか。

ウ 相談支援技術向上部会

部会長より別紙のとおり報告をした。相模原市の障害福祉相談課のケースワーカーは、他市と比べ、共に議論ができ、相談についても一緒に取り組んでいると感じている。官民協働が相模原市の特性ではないか。

(意見)

部会に参加しているケースワーカーは、現場でも良く動いている印象である。相談支援の業務において、計画案を作成することは大変な業務であると思う。意見交換でも、まず計画作成に追われ支援が次になっているという課題が挙がっている。

コミュニティソーシャルワーカーに個別支援検討・連絡会に参加してもらうなどにより地域課題の共有ができるといい。

(3) その他

(障害政策課より情報提供)

- ・「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令案(概要)について」について別紙のとおり報告があった。

(質疑応答)

指定居宅訪問型児童発達支援の創設により、受けられるサービスが増えるという認識でよいのか。

サービス提供が行われることが前提となるが、利用者の選択肢は増えるものと考えている。

新規に事業が指定された情報をどこで確認できるのか。

ウェブサイト「障害福祉サービスかながわ」などに、新規事業者の情報を掲載している。

- ・「地域生活支援拠点等について(案)」について別紙のとおり報告があった。

(精神保健福祉センターより情報提供)

- ・「相模原市ひきこもり支援ステーションについて(案)」について、別紙のとおり報告があった。

(意見)

ひきこもりは社会問題である。支援に繋がっていない方から相談があっても、対応できない状況がある。今後相談支援ステーションと連携していきたい。以前は、ひきこもりの相談は精神保健福祉センターでは精神障害者は対象外と聞いていた。今回は精神障害の方も相談が可能か。

相談は可能である。

4 副会長挨拶

5 事務連絡

- ・発達障害支援センター「発達障害の正しい理解とライフステージを見通した支援」
- ・福祉研修センター「障害者福祉の窓口・機関の役割を知る」
「障害者の社会参加と合理的配慮について」

次回開催 平成30年7月31日(火) 15:00～
障害者支援センター松が丘園

6 閉会